



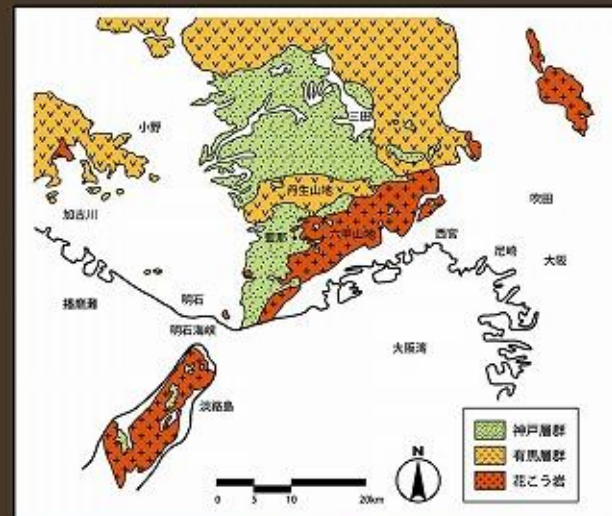
あいな里山公園の地質

Aina Satoyama Geoguide

あいな里山公園のほとんどの場所には、神戸層群の地層が分布しています。神戸層群は神戸市須磨区、北区から三田地域に広がっている地層です。新生代古第三紀（約 3500 万年前）にあった大きな湖「古神戸湖」や川原や湿地に堆積した地層です。レキ層や砂層、泥層がくり返したまっていますが、火山灰が固まった凝灰岩の地層も多く、その中からたくさんの植物化石が見つかっています。

園内のめだか池付近には六甲山地で見られる花こう岩や丹生山地で見られる有馬層群（流紋岩類）が、せまい範囲ですが分布しています。

※公園内では、岩石・化石の採掘はできません



神戸層群の分布と公園の位置



神戸層群の植物化石（左：いろいろな葉 右：ケヤキの密集）

あいな里山公園の地質図と園内で見られる代表的な地質



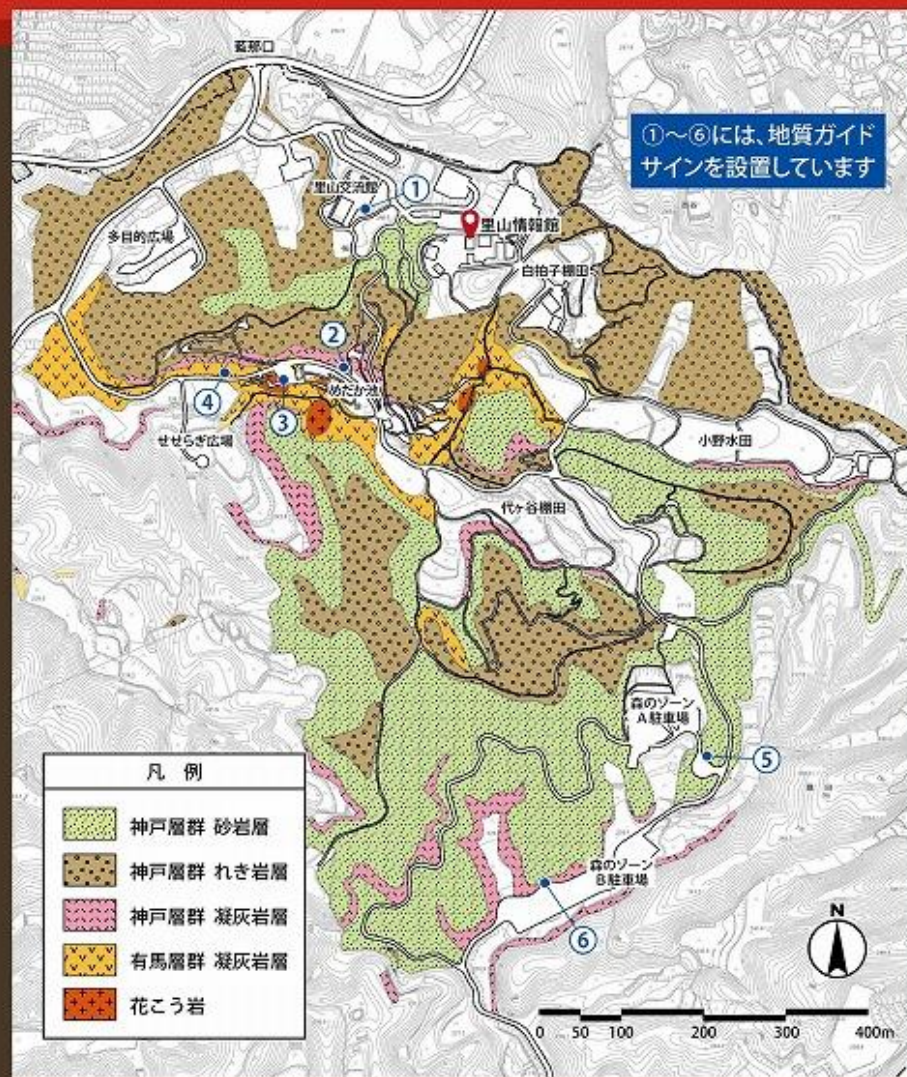
① ケイ化木と神戸層群



② 神戸層群の凝灰岩層



③ 花こう岩が有馬層群に貫入した接触面



④ 有馬層群の凝灰岩層



⑤ 神戸層群の砂岩・レキ岩層



⑥ 神戸層群の凝灰岩層